

第1学年1組道徳科学習指導案

日 時 5月31日(金) 5校時

授業者 木下 智士

場 所 1年1組教室

1 主題名 みんな同じがよいのか(A- (3) 向上心、個性の伸長)

2 資料名 トマトとメロン(中学道徳 あすを生きる1 日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は「自己をみつめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること」に関する内容項目である。自己を見つめるとは、様々な行為をする主体である自己について深く省みることであり、その過程において一貫した自分の姿や将来像を思い描くことにつながる。これまでや現在の自分、そして将来こう在りたいという自己を見つめなおすことは、自己の向上を願って生きていくうえで重要なことであり、向上心にもつながる。

人それぞれには必ずその人固有のよさがある。そのよさをより良い方向へ伸ばし、より輝かせることが個性の伸長につながる。また、自分自身で嫌だと思っている所も、見方を変えて磨きをかけることで、より輝く個性にすることができる。そのような経験を積み重ねることで、多様な人が暮らす日々の生活において、自分らしさを発揮し、さらに自分を大切に、かけがえのない存在であることを感じさせたい。

(2) 資料について

本資料は、トマトとメロンを擬人化しながら、人間はそれぞれに素晴らしい個性をもっており、それを伸ばしていくことが大切だと訴える相田みつをさんの詩である。文中に登場する「当事者」は、その事物に直接関係をもつ人の意味で、ここではトマト自身、メロン自身のことである。トマトとメロンを比較すること自体は問題ではない。問題は、別々の個性をもつ両者を同じ基準や状況で比較することにある。視点を変えればそれぞれの良さを生かせることに気付かせ、自分自身の個性に目を向け、一人一人の個性を大切にすることを育てていきたい。

(3) 生徒について(男子16名 女子16名 計32名)

生徒はこの4月に入学してきたばかりだが、男女仲が良く、活発に話し合いができる、優しく周りに配慮することができる生徒が多い。なお、本学級は4名の特別支援学級に在籍する生徒の交流級である。

事前のアンケート結果から、ほとんどの生徒が自分には良いところがあると感じている。しかし、その良いところは「足が速い」や「身長が高い」など、外面に目を向けている生徒も半数程度みられる。自分自身の内面についても「優しい」や「明るい」「真面目」「頑張れる」のように大きくとらえており、多様な視点や具体的な見方で自分自身について考えている生徒が少ない。また、一人一人の個性が強く、うまく折り合いをつけることが難しい生徒も見られ、トラブルに発展するケースも見られる。

そこで、本資料を通し、自分や友達の個性について考え、誰もが大切な存在であることに気づかせて、お互いの個性をさらに尊重しあえる、あたたかい学級の雰囲気を高めていきたい。

4 指導について

本校では「お互いに助け、認め合い、成長し合える関係づくりの推進」を研究主題とし、生徒一人ひとりの関係づくりを行うために、福井県版ポジティブ教育を取り入れている。また、指導する際にはレジリエンス力の向上も意識している。具体的には個性の一つとして生徒一人ひとりの強みに目を向け、自己理解を進める中で強みを大切にすることを育てたい。自分自身を大切にすることができる人は、他人も大切にすることができる、自分自身に困難が訪れても立ち直ることができる。自分の強みという一つの個性に目を向けさせること

で、自分自身も周りの人も大切にすることを育てることにつなげることができる。と考える。

導入では、自分が得意なことを話し合うことで一度、自分について考えさせる。そして、範読へとつなげ、範読をしてから、感想を共有し、その中でトマトはメロンにならないといけないのかということへと話をつないでいき、トマトはトマトだということから、本時では個性について考えることを伝える。

展開ではトマトとメロンを考える中で、メロンになれと言われるトマトの気持ち全体で考えていきたい。その際、きょうだいや友達と比べられて嫌な思いをした経験を振り返り、「トマトもメロンも それぞれに 自分のいのちを 百点満点に生きている」について考えさせる中で、トマトにもメロンにもそれぞれの良さがあることをおさえない。そして、他人のことに目を向けて、他人のようになることをがんばるのではなく、自分らしさを大切に、自分らしさをさらに伸ばしていくことが必要であることをおさえない。

展開の後半では、人には個性の一つとして24の強みがあることを取り上げ、3人グループになって一人の生徒にその生徒の強みだと思ふカードを伝えあう活動をする。強みを伝える際にはなぜそのカードを選んだのかを理由を述べて渡すことで、カードをもらった人自身も気づかない自分の一面への理解を深めたい。また、カードを渡す際に広がるであろう、グループ内の互いに認め合う雰囲気も大切にしたい。そして、最終的に自分が考える自分自身の強みを一つ選ぶ活動をする。この活動をメンバー全員分行うことで、自分自身も周りの人もその人自身に様々な強みがあることを共有し、学級全体があたたかい雰囲気に包まれるようにしたい。

終末では改めてみんなが持っている強みという個性を生かして、みんなで成長していくために、これからどんなことを大切にしていきたいのかを考えさせることで、学級全体で自分自身も周りの人も大切にすることを育てることにつなげていきたい。

なお、24の強みについては事前に学活で扱い、理解を深めたいうで授業に臨みたい。

5 本時の学習

(1) 本時の目標

自分や友達よさに気づき、それを尊重し、認め合って生きていこうとする態度を育てる。

(2) 準備物

ワークシート 強みカード (8セット)

(3) 本時の展開

時間	学 習 活 動	支 援 ・ 評 価
0	<input type="checkbox"/> 自分自身の得意なことを振り返る。 ・ 走るのが速い。 ・ 明るい。 ・ あきらめずに最後まで頑張ること。	・ 事前に書いてきたワークシートを使って、自分が得意なことを振り返る。 ・ うなずきながら、相手のことを否定せずにお互いに話しを聞くよう伝える。
2 3 6	<input type="checkbox"/> 本時の題材を知る。 <input type="checkbox"/> 範読を聞く。 <input type="checkbox"/> 感想をペアで交流する。 ・ トマトとメロンが比べられていた。 ・ トマトがメロンと比べられていて、かわいそう。	・ トマトとメロンが比べられていたことを確認し、トマトはメロンにならないといけないのかを考えさせる。 ・ トマトは頑張ってもトマトであることから、本時の課題につなげる。
8	<input type="checkbox"/> 本時の課題を知る。	
個性について考えよう		

10	○メロンと比べられるトマトの気持ちを考える。	
「メロンになれ」と言われるトマトの気持ちってどんな気持ちだろうか。		
15	<ul style="list-style-type: none"> ・トマトはメロンになりたいわけではない。 ・トマトにはトマトの良さがある。 ・トマトの良さに目を向けてほしい。 ・トマトだって頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が発言したトマトの気持ちに「怒り」や「悲しみ」など感情をラベリングする。
15	○自分自身が周りとは比べられた経験について話す。	
自分もトマトのように比べられた経験はないだろうか。		
20	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえちゃんと比べられたのが嫌だった。 ・計算が友だちよりもできなくて嫌だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トマトが悪いのではなく、トマトをメロンにしようとしていることが良くないことを押さえる。
20	○トマトもメロンも自分を大切にすることが重要であることを押さえる。	
「トマトもメロンも それぞれに 自分のいのちを 百点満点に生きている」 に込められたメッセージを考えよう。		
20	<ul style="list-style-type: none"> ・トマトにはトマトの良さ、メロンにはメロンの良さがある。 ・自分らしく一生懸命に頑張ればいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人のことに目を向けて、他人のようになることをがんばるのではなく、自分らしさを大切にして、自分らしさをさらに伸ばしていくことが必要であることを押さえる。
25	○個性の一つに「強み」があることを確認し、友達の「強み」を伝える活動を行うことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の仕方を教師同士でデモンストレーションする。 ・共感的に話しを聞くように伝える。
友達に自分の強みを教えてもらおう。		
26	<p>○24の強みから、相手の強みを伝え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組になって「強みカード（24枚）」を机に見えるように広げる。 ・1～3の順番を決め、2、3番のメンバーが1番の生徒の強みだと思うカードを1枚選び、なぜそのカードを選んだのか理由を述べてカードを渡す。 ・1番はワークシートに自分の強みを書き込み、カードを戻して、グループで2番の生徒の強みを探す。 ・作業を繰り返し、3人の強みを考える。 	<p>【24の強み】</p> <p>「誠実」「勇敢」「持続」「熱意」「知的柔軟性」「好奇心」「向学心」「創造性」「大局観」「寛容」「謙虚」「思慮深さ」「自己コントロール」「思いやり」「対人関係力」「愛情」「公平性」「チームワーク」「リーダーシップ」「感謝」「スピリチャリティ」「ユーモア」「審美眼」「希望」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すときには、短く、端的に話すよう伝える。 ・教師は強みを見つけることが苦手な生徒のそばにつき、一緒に活動をしなが、タイムキーパーをする。タイムキーパーをしなが、相手の強みを考える時間は確保する。 ・生徒の活動と一緒に混ざり、具体的な様子を伝えるなど、あたたかい雰囲気を作るサポートを

		する。
40	<p>○みんながもっている強みを生かして、みんな で成長していくために、これからどんなこと を大切にしていきたいのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いやりの力を使って、困っている人 を助けていきたい。 ・友だちに教えてもらった自分の強みを大切に して、学校生活を送っていきたい。 	<p>自分や友達の個性（強み）に気づき、それを尊重し、 認め合って生きていこうとする記述がみられたか。 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば、ペアで交流する。 ・お互いがお互いを認め合う、あたたかい雰囲気 をこれからも大切にしてほしいことを伝える。

6 授業の観点

- ・自分や友達によさに気づき、それを尊重し、認め合って生きていこうとする態度を育てるために、強みを共有したことは有効だったか。
- ・生徒同士の関係づくりのために、ペアトークやグループトークをしたり、強みを交流したりしたことは有効だったか。

7 反省

8 ご高評



トマトとメロン



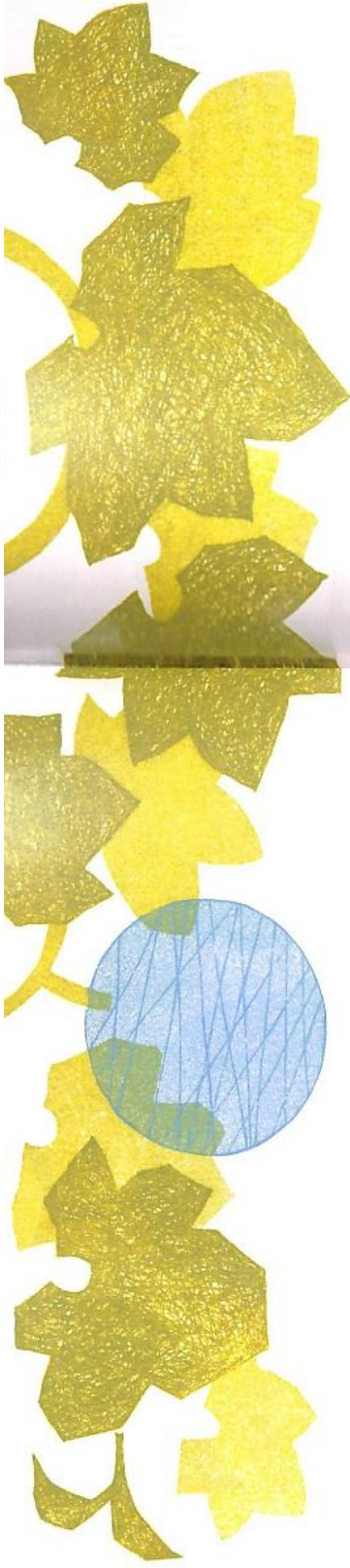
相田あつき

トマトにねえ
いくら肥料やつたつてさ
メロンにはならねんだなあ

トマトとね
メロンをね
いくら比べたつて
しょうがねんだなあ

トマトより
メロンのほうが高級だ
なんて思っているのは
人間だけだね
それもね
欲のふかい人間だけだな

トマトもね メロンもね
当事者同士は
比べも競争もしてねんだな
トマトはトマトのいのちを
精一杯せいじっぱい生きているだけ
メロンはメロンのいのちを
いのちいっぱい
生きているだけ



トマトもメロンも
それぞれに 自分のいのちを
百点満点に生きているんだよ

トマトとメロンをね
二つ並べて比べたり
競争させたりしているのは
そろばん片手の人間だけ
当事者してみれば
いいめいわくのこと

「メロンになれ メロンになれ
カッコいいメロンになれ!!
金のいっぱいできるメロンになれ!!」
と 尻ひっぱたかれて
ノイローゼになったり
やけのやんばちで
暴れたりしているトマトが
いっぱいいるんじゃないかなあ

作・相田みつを『にげんなもの』文化出版局による
絵・水多摩江



覚えておきましょう

この詩をとおして、相田さんは私たちにどんなことを
伝えたいのだろうか。



自分に+1

自分の個性を生かして生きるためには、どんなことが
大切だろうか。

